

独立行政法人日本スポーツ振興センター入札監視委員会定例会議議事概要

開催年月日及び場所	令和元年10月1日(火) 特別会議室	
委員	委員長 宮 直仁(公認会計士) 委員 齊藤 誠(弁護士) 委員 川瀬 貴晴(国立大学法人千葉大学名誉教授)	
審議対象期間	平成31年1月1日～令和元年6月30日	
抽出案件(合計)	2件	(備考)
建設工事(計)	2件	抽出案件の個別審議の内容については、別紙の「5.抽出した建設工事に関する審議」のとおりとなる。なお、各案件の概要については発注担当課から説明を行い、委員の質問等に対しては発注担当課及び発注依頼課から回答を行った。
一般競争入札 (政府調達に関する協定適用対象工事)	0件	
一般競争入札 (上記工事を除く。)	2件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務(計)	0件	
公募型プロポーザル	0件	
簡易公募型プロポーザル	0件	
簡易公募型プロポーザル(拡大)	0件	
標準型プロポーザル	0件	
一般競争入札	0件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

別紙

意見・質問	回答
<p>1.平成31年1月から令和元年6月までの間に発注した建設工事の入札及び契約の運用状況等について(発注担当課から説明)</p> <p>(意見・質問) ・特になし</p>	
<p>2.平成31年1月から令和元年6月までの間に発注した設計・コンサルティング業務の入札及び契約の運用状況等について(発注担当課から説明)</p> <p>(意見・質問) ・特になし</p>	
<p>3平成31年1月から令和元年6月までの間の指名停止等の措置状況について(発注担当課から説明)</p> <p>(意見・質問) ・特になし</p>	
<p>4.審議の対象とする建設工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について(委員長から説明)</p> <p>(意見・質問) ・特になし</p>	
<p>5.抽出した建設工事に関する審議(発注担当課から説明)</p> <p>(1)一般競争入札</p> <p>【国立スポーツ科学センター2階体力科学実験室床改修工事】</p>	
<p>(質問)</p> <p>・一者応札となった原因は何であると考えているか。</p> <p>・今後の改善策について「発注時期を早期化し、より多くの企業が入札参加できるようにする」としているが、市場全体が人手不足とされる状況においても、発注時期を早期化することは一者応札の改善策として有効であると考えているのか。</p>	<p>・本件については、調達の時期が年度末となってしまったことが原因であると考えられる。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関連する工事の影響により人手が不足しているという市場の状況の影響もあると思われる。</p> <p>・有効であると考えている。なお、第3四半期終了時点で予算が追加配賦された場合は、発注時期が年度末となってしまったため、応札できる業者が限られてしまうこともあると思われる。</p>
<p>(意見)</p> <p>・発注時期の早期化によって、その分だけ準備・履行期間が確保されることを理由に複数者の応札、一者応札の改善が期待でき、そのことが調達の競争性や公平性の確保のほか、予算の配賦・執行の効率化にもつながるといったことが考えられる。一者応札の改善により期待できる効果について改めて認識していただきたい。</p>	
<p>(2)一般競争入札</p> <p>【屋外テニスコート脇段差対策工事】</p>	
<p>(質問)</p> <p>・低落札率となった理由は何か。</p> <p>・予定価格については妥当であったと考えているか。また、契約金額の妥当性の検証は行ったか。</p>	<p>・企業努力によるところが大きいと考えられる。</p> <p>・予定価格については妥当であったと考えている。契約金額の妥当性の検証については、本件は予定価格が5,000万円を超える工事ではなく、低入札価格調査の対象となる契約ではないため行っていない。</p>
<p>(意見)</p> <p>・低落札率となった案件については、発注者としての説明責任を果たすことができるよう、その理由を確認する必要があるのではないかと。予定価格と契約金額に乖離が生じたことの合理性について、直接工事費と間接工事費とを分けて検証した方がよい。</p>	
<p>6.その他</p> <p>(意見・質問) ・特になし</p>	